

まちづくり通信 第 113 号

スポーツ協会

新春歩こう会

1月3日9時より、快晴のもと市役所に集合、出発し、朝日山の宮地嶽神社を目指しました。当日はコミュニティスクールの一環として鳥栖中2年生の2名が参加し、受付などのお手伝いをさせていただきました。小さなお子さまから80代の方まで総勢102名の方が参加され、楽しくおしゃべりをしながら歩きました。最難関である最後の階段を上り、宮地嶽神社で参拝した後に、今回一般参加して下さった橋本市長や下田寛県議員からもご挨拶をいただきました。お神酒やおつまみをいただいた後、最後にお年玉として参加賞をもらって解散となりました。参加者の皆さま、お疲れ様でした。



朝日山山頂の宮地嶽神社で参拝

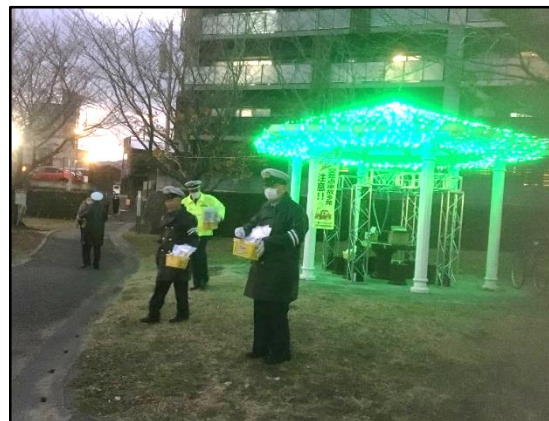


鳥栖中2年生の
原口さんと重松さん

交通対策協議会

冬の交通安全県民運動

昨年12月14日17時より、鳥栖北地区交対協がフレスポ鳥栖・中央公園において、「冬の交通安全県民運動」として啓発活動をされました。年末年始は特に増える傾向にある交通事故を未然に防ぐため、街ゆく皆さまに啓発グッズを手渡ししながら、今一度の交通安全を呼びかけました。寒空のもとでの活動、本当にご苦労様でした。



まちづくり推進協議会

策定委員会、合同専門部会

昨年12月20日に策定委員会、1月17日に合同専門部会を開催しました。令和4年度、より良い鳥栖北地区を目指してまちづくりプランを見直し、策定して参りました。令和5年度から「第2期まちづくりプラン」として、今後10年間で行っていく計画を掲げ、2月21日の臨時総会にて審議する予定です。これからも鳥栖北地区の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



策定委員会



合同専門部会

・ 2月の予定 ・

2月21日(火) 18:00～ 鳥栖北地区まちづくり推進協議会「臨時総会」

場所：鳥栖北まちづくり推進センター 集会場

長崎街道

第9歩

・幸津町・村田町・

爽やか歴史さんぽ



長崎街道とは江戸時代に長崎と小倉を結んだもので、別名シュガーロードとも呼ばれ、宿場町などがあった場所です。鳥栖地域の田代・轟木宿にもオランダ使節のカピタン（商館長）行列や、任務のため往来する長崎奉行・幕府役人やあるいは商人などが盛んに往来・宿泊していました。



朝日山

朝日山は、建武元年（1334）大宰府から来た少弐氏の庶流（本家から分かれた分家や別家の系統）朝日資法が城を築き、初代城主となりました。その後も朝日氏が代々城主を務めましたが、大内氏との攻防の末、討ち破られました。その後は勝尾城を本拠とする筑紫氏の支城として整備改修されますが、天正14年（1586）に北上してきた島津軍に敗れ、城は廃されました。江戸時代、朝日山南麓には村田鍋島家の藩邸や調練場（兵士の訓練をするところ）などがありました。朝日山南麓の街道沿いに安良村という集落があり、轟木宿の分宿の役割もあったようです。



2011年に開業した新鳥栖駅（原古賀町）の東側には「大楠（うーくす）の六地藏」が安置されています。



朝日山には、サガン鳥栖がトレーニングで駆け上がる急こう配の階段もあります。



村田町の延命地蔵と六地藏

村田町の東口には、往来の人々を守護するとして文化5年（1808）に造られた延命地蔵が祀られ、脇にはその後に祀られた六地藏が並びます。六地藏を過ぎたあたりから、村田鍋島家城下の村田町（宿）に入ります。城下町や宿場町の面影は現在ほとんど残っていませんが、村田町の中ごろの十字路にエビス様が祀られていました（現在は屋敷内）。この十字路を北へ行くと肥前鳥居が建つ村田八幡神社、南へ行くと肥前一の宮の千葉八幡宮※に至ります。村田宿の西入口はずれに沼川があり、川に沿うようにして北茂安への道が分かれていました。

※千葉八幡宮…なぜ「ちりく」？
壬生春成が千栗山に猟をしに行くとき、八幡大菩薩の使いである一羽の白い鳩が飛んできて弓の先に止まりました。その晩、白髪の翁が丸い盆に千個の栗を盛って枕元に授け、「この地に八幡神を祀れ」という夢を見ました。翌日、再び千栗山に猟に行くとき、何と逆さに植わった千個の栗から栗の木が一夜のうちに生い茂ったことから「くり」を逆さにして、「ちりく」というようになったとの言い伝えがあります。

